

短大一般入試

出題傾向

大問 8 題、小問 45 問で、すべて 4 つの選択肢から正解を 1 つ選ぶ選択式の問題となっている。構成は、会話文問題 1 題(小問 10 問、A・B の 2 つの会話文にそれぞれ 5 問ずつ)、整序英作文問題 1 題(小問 5 問)、中文空所補充問題 1 題(小問 5 問)、文法・語法・語彙問題 3 題(それぞれ小問 5 問)、中文読解問題 1 題(小問 5 問)、長文読解問題 1 題(小問 5 問)である。

学習アドバイス

●会話問題

会話問題では、A、B の 2 つの問題に分かれており、それぞれある程度の分量の会話文に対して、空所に入る適切な文を選ぶ問題 3 問ずつと、内容に関する英問英答問題 2 問ずつから構成されている。

2 人の会話が提示され、それぞれの空所に適切な英文を補充する形式と、会話文の内容理解を問う形式の出題である。空所補充については、会話独特の口語表現を問うような問題は出題されておらず、すべて前後の内容をふまえて、適切な問いや意見を選ばせるものであった。状況を正確に把握した上で、会話の流れをしっかりと捉える英語力が問われていると言えるだろう。

●整序作文問題

整序作文問題では、与えられた日本語訳を参考に、英文中に用意された 4 つの選択肢を並べ替え、指示された箇所の選択肢を答える形式である。日本語訳が与えられている点と選択肢の数が 4 つと比較的少ない点が特徴である。

対策としては、基本的な構文、文法・語法、語彙および応答表現を暗記し、実際に「使える」、すなわち「書ける」ように心がけるとよいだろう。

●中文空所補充問題

中文空所補充問題では、400 語程度の説明文を題材にして、文章中の 5 つの空所に入る適切な語彙を選ぶ形式のものと、200 語程度の A、B の 2 つの説明文を題材にして、A には 3 つ、B には 2 つの空所に入る適切な語句を選ぶ形式のものが出題されている。

本入試の空所補充問題では、熟語や文法の理解よりむしろ、論旨すなわち、文の流れを正しく追えているかどうかを試されている。当然のことながら、選択肢の単語の意味が分からないようでは手も足も出ないので、基本的な単語集にはできるだけ早く取り組むとよいだろう。

●文法・語法・語彙問題

文法・語法・語彙問題は、いずれも英文中の空所を補うのに適切な語句を4つの選択肢から1つ選ぶ形式である。なお、日本語訳が与えられているものが1題、与えられていないものが2題となっている。

問題数も多いので、過去問を解き、必ず対策しよう。非常にバランスよく広範囲にわたって出題されているので、標準的な問題集、できれば文法・語彙・語法などが1冊にまとまっているものを選んで、取り組むとよいだろう。

●長文読解問題

長文読解問題は、400語程度の英文を題材にして、内容に関する英問英答の問題が4問と、内容に関する日本語の選択肢を選ぶ問題が1問で構成されている。

読解と解答に割ける時間に余裕がないことが予想されるため、文章を読むスピードを上げておく必要がある。毎日基本的な英文をコツコツ読み直す訓練をし、文章にできるだけ多く触れる習慣をつけることが大切である。英文を読むのが苦手な受験生は、すでに学習した高校の教科書などを中心にスタートし、徐々に難易度を上げていったり、まだ読んだことのない文章に挑戦したりするとよいだろう。

内容一致問題については、本文をしっかり理解できていれば正解できるものばかりなので、まずは基本的な読解力を身につけることを目標にするとよいだろう。

以上を参考にして是非とも合格をつかみとってほしい。